

## 事務局だより ● 7月号



### 暑中お見舞い申し上げます

炎暑のみぎり、今年は大変な暑さとなりましたが、皆様いかがお過ごしでしょうか。体調を崩された方も多いのではないかと思います。どうかお大事に、そしてご多忙と存じますが、できるだけ睡眠をとり、水分・塩分補給をしながらお仕事等をなさして下さい。

先日の大雨の際の各区長さんの動きを、聞き取らせて頂きました。公民館を開放して、朝から晩まで避難を呼びかけて回ってくれた方、一人暮らしの高齢者に寄り添ってくれた方、自主的に地区放送で避難を促す際に、経験上 危険と判断した避難場所は除外して呼び掛けた方。次々見つかる崩壊箇所を、仕事を後回しにして数日掛けて点検して回ってくれた方。倒木にふさがれ渋滞する国道で、土木事務所より先にチェーンソーを使って木をどかす作業をしてくれた方、そして率先して見回り・報告をしてくれた消防団員さん・・・、お話を伺いながらそれぞれのご配慮に頭が下がりました。

今回、人的被害が1件もなかったのは、このような英断の賜物であったことは言うまでもありません。ありがとうございました。大変お疲れ様でした。

\* \*



### 轟小・しいば川



### うなぎ と モクスガニ 稚魚放流

青少年育成部会・地域の方・農林課の皆さん  
ありがとうございました



#### 6月7日(木)5時限目 14:05~

今年も轟小前の しいば川に、轟小1年生、大野原小1.2年生、岩屋保育園年長組の皆さんが集まって稚魚の放流をしました。

大人の事情・価格高騰のあおりで、うなぎがだいぶ少なめで、子供達全員に行き渡らなかったのは申し訳なかったですが、モクスガニは稚魚らしいサイズで数量も十分でした。稚魚で若い盛りなので、挟む力がものすごく強くて、軍手越しに挟まれて顔を歪める大人を見て、子供達が思わずドン引きする場面もありました。



にしはらむら ほんりたなおたか  
熊本県西原村議会議員・堀田直孝氏

【防災講演会】

「災害時私たちにできる備え」

30. 7. 2 嬉野市中央公民館（塩田）



平成二十八年四月十四日・十六日、夜間に起きた熊本地震。堀田氏は約三十六年間、西原村役場で行政に当たってきました。被災から四カ月後に退職、翌月議員となつて、避難所の住民共助による自主運営を支えてきました。四月十七日に公的避難所五ヶ所に滞在していた一八〇九名の避難者は、十一月十八日には〇名となり、避難所は閉鎖されました。↓

## 災害に関する二つの研修に参加しました

H30 年度 赤十字運動イベント

【防災セミナー】 30. 7.14 鹿島市林業体育館



日赤・佐賀県支部 社会福祉協議会の連携の下、防災セミナーが開催されました。日赤の司会進行が女性だったからか、女性目線のとても実用的なセミナーだという印象でした。カレーを頂いた際、各班に台拭きがあったりと、準備にも細かい配慮が感じられました。また、スタッフ配置や隙間時間の使い方にも無駄がない辺りは、熊本地震等の現場での経験を積んだ結果が反映されているのと、打ち合わせを密にしているのだと思いました。見習うことばかりでした。

堀田氏

↓堀田氏は地震が起こる前から、住民の世帯票を作成するために公民館に寄ってもらった等のコミュニケーションを図り、また防災訓練も積極的に実施してきました。それが、今回の「ここは待っただけの避難所じゃなか」の考えを、住民が理解することに繋がったと感じました。一人一人、必ずできることがあるそうです。



耐熱袋ハゼックス  
約 20×10cm  
(1人分 0.5 合)  
の炊飯が 20 分と  
蒸らし 10 分で完成。



嬉野高校・社会福祉コースの2・3年生が参加され、同じ班で活動させて頂きました。心配りが出来、その場に来てくれるだけで頼もしく、ご飯をモリモリ食べる。見ていて希望が湧いてくる感覚は不思議でした。



元・自衛隊員による、立ち止まらない配膳レイアウト

轟・大野原コミュニティ

岩屋川内甲369

0954-43-3256

文責：谷山佳世

いつもお読み頂きありがとうございます